

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

神戸市立須磨北中学校（神戸市）【指定校】

## 【取組内容】④校務DXから授業DXへ（標準仕様とクラウドを活用し教員の働き方改革につなげる取組）

### 進まない端末活用

環境は整備されたが、教員および生徒の端末活用が思うように進まない・・・

### 一人一台端末の必要性に関する認識

- ◎ パソコンを活用する力は必要である
- ◎ 視覚的な支援が行いやすい
- 使用しなくても学習ができる
- 端末の活用法がわからない

↓  
端末を活用することは有用であると理解しているが、一歩が踏み出せない

### 本校の課題と取り組むべき内容

- ・個人の活用能力に差がある
- ・活用方法がわからない  
⇒ **実践共有の期間を設定**
- ・共同編集のやり方がわからない
- ・クラウド環境での作業に慣れていない  
⇒ **校務DXをすすめる**

ここが変わった！

### 実践の取り組み

- ① 端末を活用した研修機会の充実
  - ・校内研修や合同研修の実施（研修テーマの設定、実践共有の場を持つ）
- ② 校務DX化の推進
  - ・日報のDX化（Teams×Excelの活用）
  - ・アンケートのDX化（Formsの活用）
  - ・授業記録のDX化（OneNoteの活用）

- ・ICT機器、端末の活用率の上昇
- ・クラウド環境の積極的活用
- ・学習用パソコンの活用機会の増加
- ・授業実践の幅の広がり

個別最適な学びと協働的な学びの  
充実のための、さらなる授業改善へ

#### 校務DXから授業DXへ

本校の課題

- ・個人のICT活用能力に差がある
- ・活用方法がわからなくて困っている

⇒ ①実践共有の機会を設定する

- ・共同編集のやり方がわからない
- ・クラウド環境での作業に慣れていない

⇒ ②校務DXをすすめる

#### 校務DXから授業DXへ

①研修機会の充実

4月	・教員への活用状況アンケートの実施 ・校内研修（デジタルドリルの使用法）
5月	・校内研修（Forms、OneNote、共同編集機能の使用法）
6月	・校内授業研究連席の実施（1連席） ・デジタルシミュレーション研修について
7月	・生徒への授業アンケートの実施
8月	・小中合同研修会（倉庫裏会） ・校内研修（思考ツールの活用）
9月	・校内研修（一人一台端末活用の展開について） ・校内研修（デジタルドリルの活用、OneNoteの活用）
10月	・校内研修（教室プロジェクターの活用、1人1台端末活用事例の共有）

#### 校務DXから授業DXへ

①研修機会の充実



#### 校務DXから授業DXへ

②積極的に校務DX化を推進

- ・日報のDX化（Excel）※Teamsで共同編集  
リアルタイムで情報共有
- ・アンケートのDX化（Forms）  
クラウド上で配信＆回収
- ・授業記録のDX化（OneNote）  
校内研修の円滑化、効率UP

#### 校務DXから授業DXへ

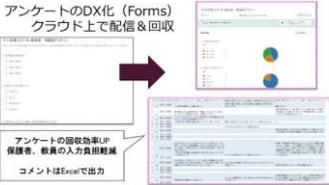
日報のDX化（Excel）※Teamsで共同編集  
リアルタイムで情報共有



共同編集でも編集可能  
教員の勤務、学年の連絡  
個別心動き等を情報共有

#### 校務DXから授業DXへ

アンケートのDX化（Forms）  
クラウド上で配信＆回収



アンケートの回収率UP  
保護者、教員の入力負担軽減  
コメントはExcelで出力

#### 校務DXから授業DXへ

授業記録のDX化（OneNote）  
校内研修の円滑化、効率UP



記録者が授業の記録を  
写真やコメントで入力  
すぐに研究討議に活用

#### 校務DXから授業DXへ

なぜ校務DXなのか

- ・さまざまな場面で校務DX化を進める  
→ 普段からクラウドやアプリを使う環境にする
- ⇒ **クラウド感覚が高まる**
- ⇒ **活用方法の選択肢が増える**
- ⇒ **授業DXのハードルが下がる**

#### 本校のDX化の歩み

2024.4 ⇒ 2024.10 の変更まとめ

	4月	10月
授業での教師のICT活用	7.1%	8.9%
授業での端末の活用	4.8%	7.6%
生徒に端末を使用させる目的	調べ学習 発表資料の作成	授業資料のクラウド化 共同編集の活用
クラウド環境の活用	4.7%	5.3%

#### 研究のまとめ

教師が活用方法を知る → 授業 → 生徒が活用方法を知る → 学習 → 生徒が個々に端末を学びに活かす

校務を通して機能を学ぶ  
= 操作に慣れる  
教師間で活用方法を共有する  
= 指導の選択肢が増える